

2024年度（第26回）鹿児島県支部総会を終えて

鹿児島県支部長 川野 好子（平2・生物）

令和6年10月27日（日）、今年の鹿児島県支部総会は南九州市知覧町の知覧特攻平和記念会館見学をメインに開催しました。会員3名、一組がご夫婦参加でしたので合わせて4名の参加でした。

快晴で町のお祭もあり、駐車場はにぎやかな雰囲気でもみ合っていました。会場に入ると秋の旅行シーズンとも重なり、全国各地から大勢の来場者があり、関心の高さがうかがえました。

知覧には広大な台地があり、1941年（昭和16年）福岡にあった大刀洗陸軍飛行学校の分教所として、現在の地方空港より一回り大きい飛行場が作られたそうです。写真や手紙などの遺品が数多く展示されており、映像を映しながらの講話もありました。多くの若者がどんな思いで飛行機に乗り込んだかが分かりました。太平洋戦争時4、5歳だった母から聞いていたことと合致することがいくつもあり、遠い過去のことのように、でも現実だったことを改めて認識しました。多くの資料が収集・保存されており、これらの記録を見て、正しく太平洋戦争で何が起こっていたのかを知り、戦争がない未来にしなければと心に刻み込まなくてはならないと思いました。



その後は、会場を蒸し料理専門店、旬蒸（しゅんしゅん）テラスに移し、支部総会と会食となりました。支部総会は出席3名、委任状5名で開催されました。あらかじめ資料を送っていたので、前年度の事業・決算報告、本年度の予算についての書面表決書を回収しました。料理が届くまでの間に6月の総会、10月の鶴風会創立80周年式典に参加したときの様子を伝えました。

会食では地元でとれた野菜と肉を蒸した旬の味に舌鼓を打ちました。今年は役員だけの参加になってしまいましたので、次年度は皆さんに参加してもらえるよう時期を考慮したり、リモート開催にしたりすることも必要ではないかと話しました。自身や家族の都合や健康状態などで当初の予定が実現できなくなったり、参加不参加に



影響があったりすることも理解しつつ、県内外の皆さんとも交流を深められるよう工夫し、早めに発信できるようにしたいと思います。

来年こそは奄美での開催を実現させるべく、健康に気をつけ、一年を無事に過ごすことを約束してお開きとなりました。



〔お店前で記念撮影〕